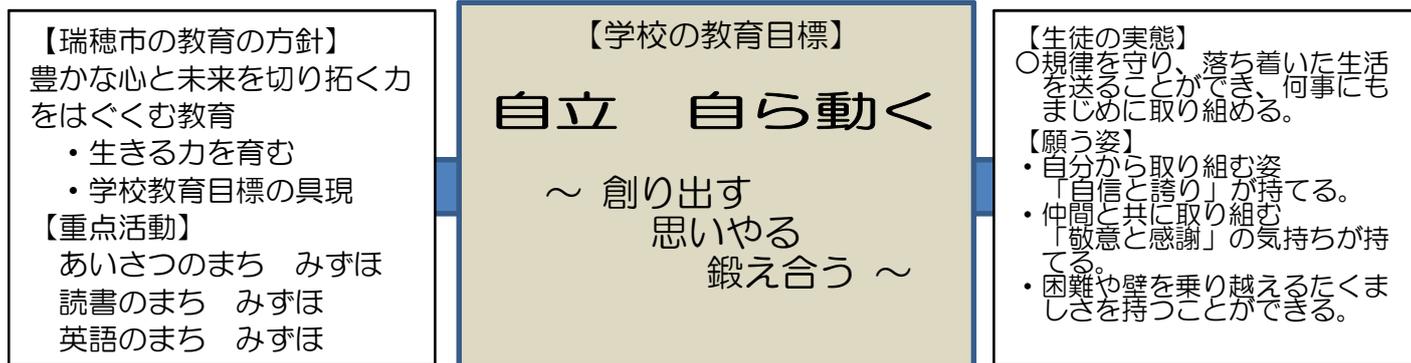
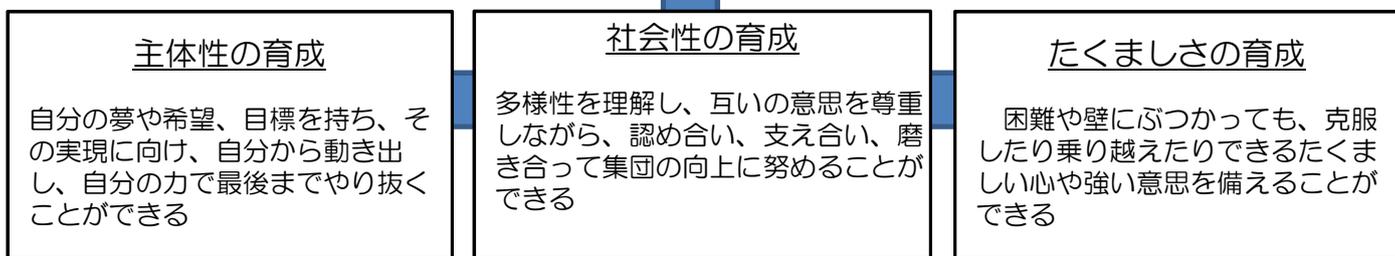


令和2年度 瑞穂市立穂積北中学校 学校経営構想



【めざす生徒の姿】
～自分の未来を自分の手で切り拓くことができる生徒～
「主体性」と「社会性」と「たくましさ」の育成



【指導の重点】

1 すべきことがわかり、当たり前のできる生徒の育成	「日常生活の充実」
2 安全に生活できる環境と安心して生活できる関係づくり	「安全・安心」
3 穂北4つの軸(挨拶・合唱・環境・授業)で集団の質を高める	「自治力・自浄力」
4 活動の「意味とねうち」を常に意識して指導する	「活動の意味づけ、価値づけ」
5 生徒に軸足を置き、生徒の目線に立ち、寄り添った指導に徹する	「受容と毅然」

教育活動の重点 穂北「夢プロジェクト」10プラン



【教職員の構え】 生徒に軸足を置いた教育で信頼される学校をつくる

- (1) 生徒が安心して生活し、落ち着いて学ぶことができる環境をつくる
- (2) 保護者の思いや願いを大切にする
- (3) インクルーシブ教育に心がける
- (4) 組織を生かし、組織で動く チーム穂北 の一員としての自覚をもつ
- (5) 先生が元気になる

教育活動の重点 穂北「夢プロジェクト」10プランの具体

1 学力の向上

- (1) 教科指導の充実 研究推進委員会 + 教科指導部会
 - ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
 - ・「つなぐ」指導を取り入れた授業改善
 - ・定着状況の見届け・終末の工夫「できた」「分かった」「学ぶ喜び」の実感
 - ・相手意識のある言語活動の充実
 - ・ICTの効果的な活用
 - ・授業アンケート 年1回実施
- (2) 学習委員会の取組
 - ・「めざす授業」を軸にした生徒と教師による授業づくり
 - ・学習委員・教科系の育成 授業づくりの担い手としての自覚と役割
- (3) 家庭学習の充実
 - ・自主学習ノート&家庭学習時間
 - ・家庭学習の方法 手引き・改訂
 - ・個に応じた指導や配慮
- (4) チャレンジ学習の充実
 - ・全員参加 チャンスに挑戦

2 あいさつの充実

- (1) 仲間、学校、地域など人がつながる気持ちのよいあいさつの励行（時と場に応じた挨拶）
 - (2) あいさつの意味指導の徹底
 - ・敬意と感謝の気持ちを表す。
 - ・人と人とのつながりを深める。
 - ・気持ちを切り替え、規律を作る。
- ※生徒会やMSJによる生徒の主体的な活動の位置づけ
- (3) あいさつの日の活用

3 自治力・自浄力の育成

生徒会活動と学年・学級の活動をつなげて全校的な活動を展開する

- (1) 生徒会活動の充実
 - ・4つの軸（挨拶・合唱・環境・授業）の充実
- (2) 常時活動・日常生活の充実
 - 委員会活動を軸とした班活動のさらなる活性化
 - ①顧問会による活動の充実と連携
 - ②縦割りの活動の工夫と改善
※生徒の手で創り上げる
体育祭・合唱祭・穂北継承会
- (3) 朝の会・帰りの会の改善
 - ・リーダーの育成

6 人権・道徳教育の充実

- (1) 特別の教科道徳の授業改善 道徳の公開授業 年1回
 - 量的確保 35時間の確実な確保
 - 質的転換 道徳的価値に向き合い、考え、議論する道徳教育への転換
- (2) 人権教育の充実
 - ・人権週間の実施
 - ・穂積北中学校人権宣言の活用
 - ・ネットプロミスの活用

4 キャリア教育の充実

- (1) 進路指導の充実
 - 付けたい力（基礎的・汎用的能力）の明確化 指導と評価
- (2) 夢講話の実施 年1～2回
- (3) 総合的な学習の時間の見直しと充実
 - ・地域探検（職場訪問）
 - ・職場体験
 - ・東京研修（企業訪問等）
 - ・模擬会社等の活動の推進

5 読書活動の充実

- (1) 朝読書の実施 10分間 本に慣れ親しみ、関心意欲を高める。
- (2) 生徒会とともに、図書館の活用を推進し、本に対する意識の向上を図る
- (3) 家庭における読書の推奨

7 MSJ活動の活性化

- MSJを軸にして、ボランティア活動を学校内外で展開していく。
- ・あいさつ活動の工夫と充実
 - ・地域貢献活動の呼びかけと充実

8 教育相談の充実

- ・不登校・いじめに対する対応の強化 未然防止 即対応 再発防止・・・報・連・相・QIおよび生活アンケートによる実態把握
- ・チーム力の向上（SC・S相・外部機関との連携）
- ・教育相談委員会、ケース会での情報共有、行動連携

9 特別支援教育の充実 意識改革

- 「その人らしさを認め合いながら共に生きる学校・学級」
- ・一人一人の教育的ニーズに応える支援体制の充実
 - ・全職員による共通理解と支援体制の強化
 - ・全職員の専門性の向上 校内研修

10 学校運営協議会（コミュニティースクール）との連携・協働

- (1) 学校間、家庭、地域において、願う姿や9年間を見通した教育のねらいや活動を共有し、一層の連携を図る
- (2) 地域の教育力や人材、人脈を生かした効果的な教育活動や小中学校による連携・協力して行う活動を明確にし、協働していく（重点：安心・安全な地域づくり）